



なか 半ばは自己の幸せを なか ひと 半ばは他人の幸せを

三本木高校少林寺拳法部



平成27年度
全国高等学校総合体育大会
(インターハイ)
少林寺拳法競技大会
女子団体演武11位

MEMO

三本木高校少林寺拳法部の部員は、現在3年生9人、2年生5人、1年生7人の計21人(男子5人、女子16人)。部員のほとんどは、高校から少林寺拳法を始め、入部のきっかけは部活紹介を見て、カッコいいと思ったから。自他共楽の精神(自分だけでなくまわりの人も幸せにしようとする精神)をモットーに週6回修練を重ねている。十和田工業高校少林寺拳法部と合同で練習することもあり、互いに切磋琢磨している。

7月31日から8月2日にかけて兵庫県立武道館で行われた平成27年度全国高等学校総合体育大会少林寺拳法競技大会において、三本木高等学校少林寺拳法部が女子団体演武決勝に進み、11位という好成績を収めました。

小原真由子主将は「今まで経験したことのない全国大会決勝という大舞台の雰囲気になじめ、暑さにも対応できなかった。全国の強豪校はスピードとキレが違った」と大会を振り返りました。

2年生で唯一出場した小笠原 希(のぞみ)次期主将は「3年生には全国大会に連れて行ってもらって感謝しています。来年の今頃は、今の3年生を超えられるように修練したい」と早くも次の目標に向っています。

同部では、突きや蹴りは寸止めではなく、体にしっかり当てる武的要素を大事にしているため、体中に青あざが絶えないと言います。

そんな同部のいいところは「間違いを指摘し合える強い信頼関係があるところ。そうでないとお互いを高められず、上達しなかった」と口を揃えます。

3年間の部活動を通して、礼儀・作法、物事に進んで取り組む自主性、忍耐力を身につけることができたと言います。それは、十和田工業高校の古館監督と同校OBのかたがたの

指導のおかげであると感謝の気持ちも忘れません。

日々の修練の果てに全国を経験したみなさんが手にしたものは計り知れないものでしょう。

3年生はこれからの糧に、1・2年生は3年生の意思を引き継いで更なる活躍となることを願っています。頑張れ！三本木高少林寺拳法部！



全国大会で気迫の演武を披露



全国大会開会式の様子